

オレンジ通信 Vol.14

さ さ き
佐々木まゆみ市議会活動レポート

2016年4月発行

発行元／仙台市議会公明党市議団 仙台市議会議員佐々木まゆみ
仙台市宮城野区幸町2-21-11 TEL022-707-7462 メールアドレス sasaki@sendai-komei.jp



「風化」「風評」に負けない！ 新年度も全力で走ります。

桜の開花が待ち遠しい4月。
そして、真新しいランドセルを背負う新1年生の姿を
拝見するたびに心が弾む4月。

新年度も皆様と共に素晴らしい一年として参りたい
と心を新たに致しております。

平成28年度 第1回の定例会が3月14日終了しま
した。仙台市の4月からの事業が市民目線できちんと
取り組まれているのか、審議する重要な定例会でした。

中でも復興事業に関しては、震災から5年が経過し
たことによる体制の変更など大きな変化があります。
仙台市の事業計画としての復興期間が3月で終了し、
復興事業局が終了となり、継続する事業については諸
々の関係部局に移管となりました。

今後は伴奏型の支援が更に重要になってきますので、

市のサービスに支障が出ないようにしっかり監視してま
いります。

いまだ避難されている方は依然としていらっしやい
ます。復興はまだ道半ば、人間の復興、心の復興が成
し遂げられるまで、断じて「風化」「風評」の二つの風に
は負けるわけにはいきません。

これからも被災された方はじめ市民の皆様のため
に、安心安全な街づくりに全力で働いてまいります。
今後共よろしくお願い致します。

仙台市議会議員
佐々木まゆみ

さ さ き 佐々木まゆみのプロフィール

昭和39年7月仙台市生まれ。
平成23年仙台市議会議員初当選(宮城野選挙区)。現在2期目。
【仙台市議会】経済環境委員会。防災・減災推進調査特別委員会。
【公明党】宮城野西支部長。

平成28年 第1回定例会 予算等審査特別委員会での質疑

平成28年3月

女性や子どもを守る新規事業の、 更なる充実に向けて質問!

【特別支援教育介助員配置事業について】 (教育費)

【佐々木まゆみ議員】新規事業である「特別支援教育介助員配置事業」の事業内容について伺う。

【特別支援教育課長】この事業は、肢体不自由があるものの通常の学級での学習や生活が可能な児童生徒のうち、日常生活上の介助が必要と認められる場合に、介助員を配置するもの。車いすでの移動や着替え、排泄などの介助を行うとともに、対象児が支障なく学習に取り組めるよう学級担任等の指導を補助することを目的としている。

【佐々木まゆみ議員】これまであった補助員・支援員と、介助員の役割の違いはどうか。

【特別支援教育課長】「補助員」は、通常の学級において、発達障害があり特別な支援が必要な児童生徒を配置対象としている。「支援員」は在籍児童生徒数が多く、指導が困難な特別支援学級に配置するもの。新規事業である「介助員」は、通常の学級に在籍し、日常生活上の介助が必要な肢体不自由の児童生徒を対象としている。補助員、支援員、介助員それぞれ対象は違っているが、いずれも児童生徒の学習や学校生活を支援するとともに、指導教員の補助をすることがその役割となっている。

【佐々木まゆみ議員】配置される介助員の応募要件、契約期間、雇用形態について伺う。また教員免許状の資格がなくても応募できるのか。

【特別支援教育課長】介助員の応募要件は、児童生徒



の教育または、介護福祉等に携わった経験のある方等としている。契約期間は、雇用日よりその年度末まで。雇用形態は、週30時間勤務する非常勤嘱託職員として教育委員会が採用する。さらに教員免許状の資格がなくても応募できる。

【佐々木まゆみ議員】介助員は毎年度末に配置学校が変わるのか。同一校継続の場合もあるのか伺う。

【特別支援教育課長】配置校の更新は1年ごととなるが、同じ学校での勤務継続も可能だ。介助員本人の希望、校長の意見を踏まえ、教育委員会が総合的に判断する。

【子育て世代包括支援センター】の事業について (健康福祉費)

【佐々木まゆみ議員】新年度からスタートする「子育て世代包括支援センター」の設置について、事業内容はどうか。

【子育て支援課長】現在、母子保健に関する相談支援を行っている区役所家庭健康課を、母子支援のワンストップ拠点である「子育て世代包括支援センター」と位置づけ、保健師等の専門職が妊産婦からの相談に総合的に対応すると共に、必要なサービスをコーディネートし、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うものである。

【佐々木まゆみ議員】これまでの子育て支援事業と異なるところ、また拡充された部分はどうか。

【子育て支援課長】一部の区ですすでに取り組んでいる、近年増加傾向にある低出生体重児に関する相談事業を他の区でも実施する等、相談支援体制の強化と併せて、新たな事業展開を図っていきたい。

【佐々木まゆみ議員】各区の職員体制はどのようになるのか。

【子育て支援課長】区の人口や状況等に応じて職員定数が定められているが、ニーズの多様化や相談内容の複雑化に伴い、保健師等専門職の負担が大きくなっていることから、今回、国の新たな補助制度を活用し、保健師や助産師等の資格を持つ嘱託職員を各区等に1名ずつ増員し、相談支援体制の効果を図ることを予定している。

【佐々木まゆみ議員】三重県の名張市では「名張版ネウボラ」と呼んで9年前から取り組んでいる。保健師をコーディネーターとし、各地域において民生委員・児童委員、主任児童委員、区長、ボランティアなどの皆さんの協力によって、地域とのつながりを実感できるネウボラ事業を重要な取り組みのひとつとしている。

地域での声掛けや応援が、子育てに不安や負担を感じている利用者にとって安心を与えてくれる。保護者の皆さんは利用する側だが、他の家庭に寄り添い声をかけることで支える側にもなるし、実施者にもなる。地域の皆さんの協力を得ながら関わって頂くことも必要と考えるが、本市として、どのように検討しているのか伺う。

【子育て支援課長】これまで同様、民生委員・児童委員と連携し、地域における育児サークルや子育てサロンとの協働による取組等も行っている。今後も地域とのつながりを大切にに取り組んでいく。

【佐々木まゆみ議員】子どもの発達段階や支援内容に応じて、関係者が必要な情報を共有し支援にあたる必要があると思うがどうか。

【子育て支援課長】現在、民生委員・児童委員と個別具体の支援先の情報を共有している他、個別のケース検討の際にも、保育施設や学校関係者等も含め多くの関係者と会議の場で情報を共有しながら支援を進めている。今後も支援機関同士が互いに関係を深めて、必要な支援が円滑に行われるよう努めて参りたい。

「妊産婦避難所について」(健康福祉費)

【佐々木まゆみ議員】「妊産婦避難所」の整備内容を伺う。

【健康政策課医療政策担当課長】「妊産婦福祉避難所」は、災害時において指定避難所等で生活することが困難な妊産婦や乳児を受け入れるため、助産師を配置した避難所であり、現在、本市として初めての指定に向けて市内2カ所の看護師養成施設と、また助産師の派遣について宮城県助産師会と協議を進めている。備蓄物資の内容は、1カ所当たり30人3日分の食料と飲料水、アレルギー対応を含む粉ミルク、使い捨て哺乳瓶、毛布、紙おむつなどを予定しており、また非常用発電機を施設で確保していただくための購入費補助も予定している。

【佐々木まゆみ議員】粉ミルクなど備蓄物資の整備はどうか。

【健康政策課医療政策担当課長】食料や飲料水、粉ミルクについては賞味期限があるので定期的に更新していく。また、地域で行われている避難訓練時と同様、期限内に各施設で実施する妊産婦福祉避難所開設訓練等において有効活用すると共に、粉ミルクについては、乳児院など子育て支援施設にて、お使い頂く事も想定している。

【佐々木まゆみ議員】誘導について。いざ、災害が発生した、どこにいけばいいのか、またどのようにして避難所まで行けばいいのか、安全に誘導することが求められる。「妊産婦避難所」までの誘導はどう図られるのか。

【健康政策課医療政策担当課長】災害が発生し指定避難所が開設された場合、区災害対策本部の保健師が巡回等により健康状態を把握する中で、必要な方に妊産婦福祉避難所にお移りいただく。移送はご家族に行って頂くのを基本としており、場合によっては送迎ボランティアなども活用し対応したい。

【佐々木まゆみ議員】「妊産婦避難所」に関する情報の周知方法はどうか。

【健康政策課医療政策担当課長】市ホームページや産婦人科の医療機関等を通じて周知を図る他、指定避難所の運営に関わる方々や民生委員児童委員に対しても周知を図る。

佐々木まゆみ 日々の活動

仮設住宅アンケート申し入れ(3月23日)

第5回目となる仮設住宅アンケート調査の結果を、宮城県へ要望しました。今回は新たに「復興公営住宅」にお住まいの方への聞き取り調査も行い、新たな問題点も浮き彫りとなり、早期の支援を強く県に訴えました。



JR仙山線脇に防止柵設置

宮城野区幸町から青葉区中江にかけて通っているJR仙山線の線路沿いに危険防止のためのフェンスが完成しました。以前よりガードレールはあったのですが、それだけでは不十分との事で、昨年夏に地域の方から署名等を頂き、仙台市へ要望書を提出。

県や国とも連携し推進した結果、このたびの完成と

なりました。近所には幼稚園、保育園、小学校が有り子ども達が安心して通える、と保護者の方にも大変喜んで頂きました。



3.11追悼式

宮城野体育館で行われた東日本大震災仙台市追悼式に参加。改めて亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を捧げ、復興への誓いを新たにしました。



小中学校の卒業式に参加(3月12日・18日)



日々の街頭演説



南蒲生浄化センター視察



楽天ゴールデンイーグルス激励会(1月21日)

オコエ選手含む新人9名が仙台市役所に来庁され、スポーツ市議団として激励会を開催させて頂きました。代表して花束を渡しました。



バス停にイスを設置(鶴ヶ谷)

鶴ヶ谷団地入口バス停にイスが設置されました。地域の方の要望を受け、早速当局に要望したところ、すぐ対応していただきました。バスを降りられる時に、まずイスに腰掛け、一休みされる利用者を見て、喜んで頂けたことを実感しました。

